

新型コロナウイルス感染症に関する九都県市首脳による  
緊急テレビ会議

会議記録

令和2年4月1日（水）

## 新型コロナウイルス感染症に関する九都県市首脳による緊急テレビ会議概要

I 日 時 令和2年4月1日(水)  
午後5時30分～午後6時13分

### II 会議次第

- 1 開 会
- 2 緊急会議の主旨説明
- 3 東京都知事から発言
- 4 各都県市首脳による情報共有・意見交換
- 5 緊急メッセージ発出について発議
- 6 緊急メッセージの修文と取りまとめ
- 7 閉会

### III 出席者

埼 玉 県 知 事	大 野 元 裕
千 葉 県 知 事	森 田 健 作
東 京 都 知 事	小 池 百 合 子
神 奈 川 県 知 事	黒 岩 祐 治
横 浜 市 長	林 文 子
千 葉 市 長	熊 谷 俊 人
さ い た ま 市 長	清 水 勇 人
相 模 原 市 長	本 村 賢 太 郎
川 崎 市 長 (座長)	福 田 紀 彦

## 1 開会

### ○座長（福田川崎市長）

それでは、定刻となりまして皆様お揃いでございますので、これから九都県市首脳による緊急テレビ会議を開催させていただきたいと存じます。

皆様方には大変お忙しい中、ご参加をいただきまして誠にありがとうございます。

## 2 緊急会議の主旨説明

### ○座長（福田川崎市長）

それでは早速、議事に入らせていただきたいと思います。

新型コロナウイルスの感染者が、国内、特に大都市において急増している状況に対応するため、一体的な圏域を構成し、人々が日々広域的に移動している九都県市での一層の連携強化を図るべく、本日ここに緊急テレビ会議の開催を呼びかけさせていただきました。

本日は、最新の情報を踏まえながら、情報交換・意見交換を行った上で、九都県市首脳会議としてメッセージを取りまとめたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひしたいと存じます。

## 3 東京都知事から発言

### ○座長（福田川崎市長）

それでは、初めに東京都の小池知事から、現在の東京都の状況についてご説明をいただきたいと存じます。

小池都知事、よろしくお願ひいたします。

### ○小池東京都知事

ありがとうございます。

九都県市首脳によります緊急テレビ会議、福田市長、いろいろとご準備いただきまして誠にありがとうございます。

そして今、皆様方の顔が見える訳でございますけれども、今年の台風15号、そして19号、皆様それぞれ大変だったと思いますけれども、九都県市で連携しながら、様々な災害対策にも協力したという実績があらうかと、改めて思っているところでございます。

一方で、今回の災害、これは見えざる敵との戦いでございます。新型コロナウイルス感染症というのは、ほんの数か月前まで、全く影も形もなかったはずでございますけれども、あっという間に九都県市を取り巻く環境も大きく変えていったところでございます。

一番新しい東京都の数字をご紹介しますと、先週から残念ながら感染者数が増加しておりまして、本日新たな患者さんが66名となりまして、これまでの累計の患者数は587名となっております。

昨日は78名の感染者のうち、40名が30代までの若い方が占めておられるというのが、一つの特徴でございます。

感染の発見が難しい若年層にも感染が広がっているというのが、懸念の課題の一つでございます。

また、7名の方が、お亡くなりになっております。心からお悔やみを申し上げたいと存じます。

私、記者会見で、感染爆発重大局面ということを上申したのはつい最近でございますけれども、爆発的な感染の拡大を回避するためには、住民の皆様と向き合って、そして現場を持つ地方自治体の間での強力な広域連携というのは、極めて重要かと存じます。

これまで様々な行政課題の解決に連携して取り組んできた九都県市、冒頭に申し上げたとおりでございますけれども、住民の皆様を守って、安心した生活を取り戻すためにも、まさに、改めて一丸となってこの事態に立ち向かっていかなければならないと存じます。

九都県市のネットワークを有効に活用して、速やかに情報共有を図るなど、これまで以上に連携を深めていきたいと存じます。

また、先程申し上げましたように、今回の新型コロナウイルス感染症は目に見えないということでございまして、それだけに、住民の皆様一人ひとりの感染リスクを避ける行動も重要になってまいります。

そこで、感染のリスクが高いと言われております、いわゆる3密でございます。換気の悪い密閉空間、多くの人の密集する場所、そして近距離での密接した会話、この三つの密を避けて行動するようにお願いをいたしております。

それから、先程も数字を上申した訳でありますけれども、都内におきましては感染の経路が不明な方が増えてきております。厚生労働省のクラスター対策班の分析の結果、感染経路が不明な症例のうち、特に夜間から早朝にかけて営業しておられる、接待飲食店などでの感染が疑われる例が多発していると報告を受けております。

といったことから、都民の皆様、こうした場への出入りの自粛についてもお願いをしたところでございます。

それから、今週末に向けまして、さらに予断を許さない状況が続いてくるということで、これまでも平日夜間の外出、週末におけます不要不急の外出の自粛を含めまして、住民の皆様方の協力をお願いしてまいりました。

この積み重ねが、感染者の爆発的増加、いわゆるオーバーシュートを回避することに繋がるかと存じます。

そのためにも、住民の皆様方にしっかりとメッセージを届けていくということが重要で、そして改めて、日常の行動の変容をお願いしていくことが鍵になるかと存じます。

今日も、先日1都4県で共同のメッセージを取りまとめたいただいた知事の皆様方がお揃いでございます。住民、企業の皆様へ感染の拡大防止に向けた協力を連携して呼びかけたところでございます。

その結果、先週末の28日、29日、都営地下鉄の利用者数で見ましても、前年の同時期に比べますと1日平均約67パーセント減少をいたしております。近隣の県から都内に訪れる方の数も大きく減少しているなど、1都4県で発出したメッセージは、その効果を生んだと言えると思います。

各県市におかれましても、住民の皆様への協力の呼びかけを実施していただいておりますが、さらに強くお呼びかけいただいて、九都県市として首長の連名でのメッセージの発出、一致協力して感染拡大を早期に終息させるためにも、ワンボイスで行きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

長くなって恐縮です。ありがとうございました。

#### 4 各都県市首脳による情報共有・意見交換

##### ○座長（福田川崎市長）

小池知事ありがとうございました。

それでは続きまして、各県市の状況につきまして情報共有・意見交換をさせていただきたいと存じます。

まず、私どもの川崎市の状況をお伝えさせていただきます。

本市では1月31日に対策本部を設置いたしまして、イベントの自粛、学校の休校対応などを行っておりましたけれども、3月12日になってから初めて陽性患者が現れたところでございます。

そこから徐々に増えはじめまして、今日時点で30名の感染陽性者の報告がなされております。

本市は東京都と横浜市の間にあるということで、人の移動というのも、通勤・通学は都内に、そして横浜方面にという方が非常に多いものですから、神奈川県内の自治体でありながら東京都ともしっかりと連携をし、神奈川県内ともしっかりと連携をしていくという、それぞれの都県市を越えた取組というのが、私どもにとっても大切な課題だと思っております。

その判断が一つひとつ非常に厳しいなという感覚を持っております。

医療の現場でも、非常に厳しく、一定のところでは踏んばっているという状況ではありますけれども、中長期性を見据えて、対応を取っていかねばいけないと思っております。

医療体制については、本当に数日内で、早期に体制を整えなければならないと思っております、県内、それから都県を越えた広域的な連携が極めて重要だと思っております。

そういった意味で、ここでの情報共有、そして連携がますます重要になってくると思っておりますので、どうか連携のほど、こちらからもよろしくお願いをしたいと思いますと思っております。

私からは以上でございます。

それでは、続きまして埼玉県の大野知事、よろしくお願いをいたします。

##### ○大野埼玉県知事

まずは、川崎の福田市長、このような機会を設けていただき、大変感謝をしております。ありがとうございます。

本県の現状を申し上げますと、現在までに103名の陽性者が確認をされています。

それから相談窓口は、1月24日に24時間の体制を立ち上げて以来、約6万件の相談が寄せられています。

本県の感染者数ですが、1日当たり10名前後で推移しており、現時点では急激にクラスターが拡大するような状況にはありません。

しかしながら、東京都との間では、例えば埼玉県は昼夜人口の差が日本一大きい。という意味は、ここにおられる皆様のところにだいたい行っているということでございまして、首都圏の往来がまさに激しい、ど真ん中にある県でありますので、我々としては大きな懸念を持っています。

また、東京都の状況をグラフにして見ると、実は大体10日遅れぐらいで埼玉県の状況に反映されてきているということでありまして、したがって県としては、例えば今日から医療のニーズに対応するために、病床を振り分けるというのを県で一手にやるための、調整のための部局をつくらせていただきました。

また、自粛については、週末については外出を自粛していただくこと、また平日については、繁華街に行くことや、あるいは東京に不要不急で行くこと、こういったことをしないようお願いをさせていただいております。

いずれにいたしましても、感染のピークを遅らせて、そして爆発的な患者の急増を防ぐためにも、私はこういった枠組みで、しっかりと連携を取っていくことが大変重要と思います。

長い戦いですが、ともに頑張りましょう。

#### ○座長（福田川崎市長）

ありがとうございました。続きまして、千葉県森田知事、お願いいたします。

#### ○森田千葉県知事

福田市長、いろいろとありがとうございます。

先日の一都四県の共同メッセージは大変良かったと思います。多くの県民にメッセージが伝わったし、これは東京都だけの問題でなく、私たちの問題だ、という認識ができました。

それと同時に各県でできることがあります。本県の場合は平日夜間、東京への移動の自粛をお願いをしているところです。

しかし、何といたってもこのコロナを倒さなくてはなりません。

そのためには、劇薬的な特効薬を使わなくてはいけないかもしれません。

でもここで私たちは冷静さももたなくてはなりません。コロナを倒しても私たちの社会生活、社会

経済も倒れてしまった、これではどうしようもありません。

私たち九都県市でしっかりした情報の共有、連携と同時に他国もバランス、ハンドリングをしっかりと持っていていただいてしっかりした指導力を発揮していただきたい、と思っています。

いずれにしても何としてもこの国難を乗り越えたいと思っています。よろしくお願いします。

## ○座長（福田川崎市長）

ありがとうございました。神奈川県黒岩知事、よろしくお願いします。

## ○黒岩神奈川県知事

ありがとうございます。

まさに首都圏が一体という認識を確認することが非常に大切だと思っています。

我が県は非常に危機感を持って、明日にも感染爆発が起こってもおかしくない、そういう認識の下で、最悪の状態を想定しながら、それに備えているところであります。

まずは医療体制であります。中等症の患者を集中的に治療するという重点医療機関、こういったものを設けるといったこと。これは、ダイヤモンドプリンセス号の対応に当たった経験を生かしたものであります。

この重点医療機関、今日先程記者会見させていただきまして、県内三つの病院の名前を載せさせていただきました。着々と神奈川モデルを進めているところであります。

こういったことをなぜやっているか。

実は、医療崩壊を防ぐということ、これが一番大事なことであります。通常の医療といったものを守らなければいけない。そのために、コロナの体制と一緒にやっていくというのがこの神奈川モデルというものであります。

それから、LINEを使った新型コロナ対策パーソナルサポート。これは24万人の方が登録していただいておりますけれども、全国知事会を通じて全国にお願いしたところ、18の都道府県で運用を開始していただいております。さらに9都道府県で導入に向けた検討を行っていただいております。

実は、これは3月5日から神奈川県は始めてきたんですが、ずっとデータを取っているということによって、様々なことが見えてまいりました。

それを昨日発表させていただいたんですが、簡単に言いますと、3連休のときにちょっと緩んだということがありました。この緩んだことによって、実はその後、発熱者、発熱したといった方がどんと増えていって、その前に自粛したといったことによって減った、といったことがありました。

つまり、自粛を皆様をお願いするといったことには、非常に大きな効果があるといったことは、LINEのデータ分析によって明らかになっているということでもあります。

ですから、また週末を迎えますけども、九都県市が一体となって、密閉・密集・密接、これを避けて行動していただくということでもありますとか、不要不急の外出を控えること、こういったことを皆様とともに訴えていく。特に週末は、人混みへの不要不急の外出を控えること、これをしっかりとメッセージとして出すことは、非常に意義のある発信ができると思っております。

ありがとうございました。

#### ○座長（福田川崎市長）

ありがとうございました。それでは、横浜の林市長、お願いします。

#### ○林横浜市長

川崎市長本当にありがとうございます。

横浜市でございますが、医療機関をはじめ、関係者の皆様、厳しい状況の中で昼夜を問わず、患者様のために力を尽くしてくださっています。

現時点での横浜市の感染者数は30名ですが、クラスターなどの発生、患者数の爆発的な増加は見られません。

しかし、いま各知事もお話をされていましたが、首都圏が危険な状態になっています。横浜は1日に約43万人の方が、横浜市から東京23区に通勤・通学されており、引き続き予断を許さない状況が続いています。

もし爆発的な感染拡大が発生すれば、地域の医療提供体制が受ける影響は極めて深刻です。皆様と一緒に一致団結して、何としても医療崩壊を防がなければならないと考えております。

知事からもお話がありました、ダイヤモンドプリンセス号の受入れ時に重症から回復した中等症の患者さんが感染症専門病棟に留まり、その後発生した重症患者さんの病床確保が困難になるという経験をしました。

その際、国や県、民間の医療機関と連携をし、丁寧な病床調整を行った結果、乗り切ることができました。

これも、九都県市が一丸となってやっていく必要があると思います。

また、皆様同じ思いだと思いますが、横浜市内の事業者の皆様からは、売上げの大幅な減少、運転資金の不足など悲痛な声が横浜市に寄せられています。市民の皆様暮らしを守るためにも、中小企業の皆様が融資において負担する信用保証料を軽減する支援メニューの創設、拡充を行っています。

現在、特別経営相談窓口では3月までの中で2,115件の相談を受け、融資実績が797件、既に269億円強となっております。

国から出される経済対策にも、市民の皆様や企業の皆様をしっかりとお支えする必要な対策を講じるよう、九都県市でもさらに連携し、国にしっかりとお願いをしていきたいと思っておりますので、どうぞ

よろしく申し上げます。

今日の開催ありがとうございました。

#### ○座長（福田川崎市長）

ありがとうございます。それでは千葉市の熊谷市長、お願いします。

#### ○熊谷千葉市長

福田市長をはじめ川崎市の皆様、本会議の調整本当にありがとうございます。

千葉市は、千葉県とも連携をしながら、感染拡大の防止にこれまで取り組んでまいりました。

私ども市民の感染者数は4名と少ない状況ではありますが、2月の下旬に全国で初めて教員の感染が確認されるなど、市外の方で千葉市に働きに来られた教員や保育士といった方々の感染が判明し、私どもは、クラスター化するのではないかという危惧の下で、この間検査等を進めてまいりました。

幸いにしてどちらもクラスターにはならなかったものの、健康観察や福祉施設の対策強化に取り組んでまいりたいと考えております。

そうした中で、都内で勤務する方の感染が相次いで発生している状況であります。そして、感染経路が不明確という状況になっております。

東京都では、都内の感染者が発生したときに、居住地などの詳細について大まかなエリアが公表されておられません。都内という形になっております。

千葉市内で発生した感染者が、都内の感染状況とどのような関係があるのかが、現時点では類推できない状況にあります。

都内の感染者がどのような場所、状況で発生しているのか、なかなか公表も難しいところもあろうかと思っておりますので、どうか私どもに非公表でも情報提供いただけると、市内の感染者から保健所が聞き取りをする際に、こうした情報が役に立ちます。

感染経路の推定、さらには市民への適切な注意喚起に繋げることができますので、どうぞ情報の共有をお願いできればと思います。

九都県市の情報を集約することで、少しでもクラスター若しくはクラスターに類するようなものを早期に特定し、感染拡大防止を図ってまいりたいと考えております。

そうした観点から、先日東京都の小池都知事が、バーやナイトクラブなど例示を挙げられて、夜の接触に伴う感染が拡大していると注意喚起を行っていただいたのは、大変分かりやすく多くの方々に注意喚起の効果があったと思っております。

私どもも首都圏一致団結して感染拡大の防止に取り組んでまいりたいと考えておりますので、引き続き事務局として川崎市に何かとお願いすることが多いかと思っておりますが、どうぞよろしくお願ひいた

します。

#### ○座長（福田川崎市長）

ありがとうございました。続きましてさいたま市の清水市長、お願いいたします。

#### ○清水さいたま市長

福田市長、どうもありがとうございます。こうした機会をつくっていただいたこと、心から感謝を申し上げたいと思います。

さいたま市の感染状況ですが、これまでに10名の方の陽性が確認され、そのうち4名の方が退院をされております。特に、その中でも20代の方が3名、また40代も含めると、その半数が若い世代ということになっております。若い世代は症状が出にくく、行動範囲も広いために、感染拡大の原因となっていると言われていているところでもあり、懸念しております。

また、さいたま市からも毎日18万人の方々が通勤、通学で都内に通われます。そして休日も、買い物、あるいは都内に遊びに行くという方々もたくさんいらっしゃって、東京都の感染者数の急増の影響は大変大きいと、私たちも捉えております。この中で特に、行動半径も広く、また行動力のあります若い世代の方々の活動自粛を促すということが大変重要だと考えております。

私たちにとっても、今極めて重要な時期であると認識をしております。東京都をはじめ九都県市の皆様としっかりと足並みを揃えて、感染拡大の防止に向けた徹底した対策を講じていきたい。このように考えております。

さいたま市は、これまでも新型コロナウイルスの感染症対策の専門家会議を開催し、各専門家の皆様の声をお伺いしながら対策を進めてまいりました。市民の利用施設を4月19日まで再延長させていただき、また、イベントの中止なども行わせていただいております。

先週行いました土日の外出の自粛についても、大変大きな効果があったと考えております。これからも今後も皆様と一緒に連携をして、感染拡大防止に向けてしっかりと取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

#### ○座長（福田川崎市長）

ありがとうございました。それでは、相模原市の本村市長、お願いします。

#### ○本村相模原市長

福田市長、今回はありがとうございます。

首都圏で感染が大変拡大しておりますが、本市におきましては、現在31名の感染症の患者がおります。そのうち14名の方が完治している状況ですが、まだ予断を許さない状況でございます。

そういった中、本市におきましては、二つのクラスターが発生いたしました。

これまで、1,313件のPCR検査を積極的に、疫学調査とともに行ってまいりまして、感染の拡大を最小限に抑えてきたところでございますが、感染ルートが不明な患者さんが非常に増えていることが課題であります。

このため、感染症の患者が増加して、感染症病床が満床になって受入れが困難になった場合でも、適切な医療を提供できるように、現在、入院が必要な患者等を受入れた市内の一般の医療機関に対しまして、相模原市独自の支援策を新たに実施しているところでございます。

加えて、市民の皆様に向けましては、患者さんや、ご家族の人権や個人情報に特段のご理解とご配慮をお願いしているほか、不要不急の外出や都内への移動について、当面の間、平日も含めて可能な限り避けていただくよう、昨日私からのビデオメッセージで発信をしたところでございます。

住民の安心・安全を守るため、不要不急の外出の自粛要請を今後も続け、今回のように九都県市の皆様と一緒に連携しながら、首都圏で感染拡大防止に向けた一体の取組が今後必要であると考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。以上です。

## 5 緊急メッセージ発出について発議

### ○座長（福田川崎市長）

どうもありがとうございました。それぞれ首脳の皆様、情報を共有していただきまして誠にありがとうございました。

本日の会議の成果として、九都県市首脳会議からの緊急メッセージを発出したいと考えています。

お手元の案をご覧ください。本日は時間が限られておりますので、大変申し訳ありませんが、まず修正のご意見がある方のみご発言をいただきたいと思っております。

小池知事どうぞ。

### ○小池東京都知事

まずは緊急メッセージお取りまとめいただき、ありがとうございます。

その上で、ぜひ加筆をお願いしたいというのがありまして、3番目でございます。「無意識のうちにウイルスを拡散させることが懸念されています。重症化しにくいとされる若い世代の方を含め、人混みへの不要不急の外出」。その後、先程から皆様もご指摘と言いましょいか、その件について認識を共有させていただいていると思っておりますが、「夜間の外出を控えてください」と。もう一度言いますと、「人混みへの不要不急の外出及び夜間の外出を控えてください」。「夜間」という言葉を入れていただけないでしょうか。

### ○座長（福田川崎市長）

いま小池知事から「夜間の外出を」ということを加筆するべきだと言言ございましたけれども、何かこの点についてご意見ございますでしょうか。

**○林横浜市長**

賛成です。

**○座長（福田川崎市長）**

よろしゅうございますか。

小池知事、実はこの会議が始まる2分程前に、本市の健康安全研究所の所長の岡部が、いま政府の専門家会議のメンバーでございまして、この点について、同じ3番のところ、「若い世代」とありますが、夜間の外出をして、クラブですとかそういった所に行って感染しているのは、実は若い世代というよりも、中高年の皆様が行って感染してきているというケースが、かなりあると、若い世代だけ注意をされては困るんだという、専門家会議のメンバーとしての意見がございました。ゆえに、「夜間」を入れて「若い世代」を削らせていただくというのは、皆様いかがでございましょうか。

よろしゅうございますか。それでは修文をいたしますけども、「夜間の外出を」ということと、「若い世代」というのを特定しないという形で修文をさせていただきたいと思います。

**○小池東京都知事**

すみません。そうすると、重症化しにくいとされているのがみんなになってしまいます。「重症化しにくいとされる若い世代の方をはじめ、中高年を含んで」ということでしょうか。若い世代の方々が、本人は気付かないけれど重症化しにくいというのが最近分かっている傾向なので、「若い世代」というのは、やっぱり残したいですね。

**○座長（福田川崎市長）**

なるほど。

**○小池東京都知事**

そのため、「重症化しにくいとされる若い世代の方や、中高年の方々の人混みへの不要不急の外出及び夜間の外出をお控えください」。

**○熊谷千葉市長**

そうすると、「全ての世代が」というのを入れたほうがよろしいかもしれませんね。

**○座長（福田川崎市長）**

なかなか難しいですね。「若い世代の方を含め、全ての世代が」と。大野知事何かございますか。

**○大野埼玉県知事**

提案なんですけど、今の皆様のご意見を全部入れる形で、「3」の趣旨は、症状の出ない方や症状の軽い方のことを言っています。そうすると、高齢者の方々とは文脈が変わってくるので、私からのご提案は、3番のところを「懸念されています」でいったん切らせていただいて、その後、「4」を別に立てて、「重症化しにくいとされる若い世代の方を含め」を切って、「人混みへの不要不急の外出、夜間の外出を控えてください」にしないと。最初の文脈は、高齢者は普通入らないですよ。最初の2行は。

**○座長（福田川崎市長）**

そうですね。

**○大野埼玉県知事**

なので、2段に分けないと。最初の3ポツは若い人の話、4ポツはあらゆる世代について、夜間と人混みを避けるということ。これを分けてやらないと、受け取るほうが分かりにくくなってしまわないかということなので、ポツ4を増やすことをご提案いたします。

**○座長（福田川崎市長）**

なるほど。そうすると、「懸念されています」で、そこで「3」が終わってしまうということですね。

**○大野埼玉県知事**

あるいは、「症状の軽い方が、無意識のうちにウイルスを拡散させないように行動してください」にして、4ポツで「重症化しにくいとされる若い世代」のことを切って、いきなり「人混みの中へ」とやったらいかがでしょうか。

**○小池東京都知事**

提案です。

**○座長（福田川崎市長）**

小池知事どうぞ。

**○小池東京都知事**

この3番目のところは、「若い方」と「外出」が主な柱になっていたのですが、そこに「高齢」も含めるといことで、ただこの3番目は外出に関係する一くくりになりますので、やはり分けずに、3番の中でまとめるほうがよろしいのではないのでしょうか。よって、二つ目のくくりの「重症化しにくいとされる若い世代の方を含め、人混みへの不要不急の外出を控えてください。また、高齢者の皆様も含め、夜間の外出もお控えください」というふうに外出シリーズで、この3番目はまとめたほうが分かりやすいと思うのですがいかがでしょうか。

**○熊谷千葉市長**

福田市長よろしいですか。

**○座長（福田川崎市長）**

はい。どうぞ。

**○熊谷千葉市長**

小池都知事のおっしゃることもよく理解できますので、当初の趣旨を生かして、「懸念されています。重症化しにくいとされる若い世代の方は、自身をはじめ、他者に移さないという観点を意識していただきたい」という文章を入れて、その次に「全ての世代が人混みへの不要不急の外出、特に夜間の外出を控えてください」とすれば、恐らくももとの若い世代に伝えたかったメッセージと、全ての世代というのが包含できるのではないかなと思います。

**○座長（福田川崎市長）**

なるほど。熊谷市長、もう一度よろしいでしょうか。

**○熊谷千葉市長**

はい。「症状の出ない方や症状の軽い方が、無意識のうちにウイルスを拡散させることが懸念されています。重症化しにくいとされる若い世代の方は、自身だけでなく周りの方々に移さないという視点をしっかり持っていただきたい」というような趣旨を入れて、その後「全ての世代が人混みへの不要不急の外出、特に夜間の外出を控えることが大事だ」的な、そういう文言が一番、今までの全ての方の意見を包含できるのではないかなと思います。

**○座長（福田川崎市長）**

今の意見でよろしいですか。林市長、どうぞ。

**○林横浜市長**

熊谷市長のお話も分かりますが、できるだけ文章はシンプルにしたほうが分かりやすいと思います。どう表現するかはお任せしますが、先程の小池知事のおっしゃった文脈がすごくすっきりしていてよかったと思います。

**○座長（福田川崎市長）**

文言調整に時間がかかってしまうので、ここは座長にお任せいただいて、修正させていただいてよろしいでしょうか。

**○一同**

（異議なし）

**○座長（福田川崎市長）**

ありがとうございます。ほか、修文のところでございますでしょうか。ご意見ありましたらお願いいたします。本村市長。

**○本村相模原市長**

本市は、新型コロナウイルス感染症について早い段階で発症した患者がおりました。特に、クラスターと言われた医療機関におきまして、医療従事者の皆様や、患者さんやご家族含めて、関係者の皆様が差別扱いや風評被害を受けているという事案がございました。こういったことを受けて、先程もお話したように、ビデオメッセージで、既に人権や個人情報をしっかり大切に扱うということで発信したところがございますが、提案といたしましては、6番目のところに、「感染症の患者やご家族等に対して、人権や個人情報の保護についてご理解とご配慮をお願いする」という文言を付け加えていただきたいと思います。

**○座長（福田川崎市長）**

6番の「ご家族を全力で応援してください」の後に、「患者、ご家族の人権と個人情報保護についてご理解とご配慮を」ということを付け加えるということですか。

**○本村相模原市長**

できれば冒頭に入れていただきたい。

**○座長（福田川崎市長）**

冒頭というのは、前文で入れるということですか。6番の前のほうに入れるということですか。

**○本村相模原市長**

はい。6番の冒頭に、「感染症の患者やご家族等に対して、人権や個人情報の保護について、ご理解とご配慮をお願いする」で切っていただいて、それから「医療を支える」という形で続けていただきたいと思っております。

**○座長（福田川崎市長）**

なるほど。本村市長からのご提案、皆様いかがでしょうか。

**○熊谷千葉市長**

大賛成です。私も申し上げようと思っております、個人情報の保護が尊重されないと、正確に保健所の聞き取りに行動を言っただけなくなってくる可能性を懸念しております。そうすると、クラスターが特定できなくなりますので、そうした観点からも、感染された方も誰かに感染させられた被害者ですので、そうした保護を九都京市で発信するのは大変重要だと思います。

**○座長（福田川崎市長）**

ありがとうございます。皆様よろしいですか。

**○黒岩神奈川県知事**

今の本村市長のご意見すごくよくわかるんですが。それを6番に一緒くたにしなくてもいいと思うんですね。それはそれで一つ、独立させてもいいんじゃないでしょうか。患者さんとかその家族に対する偏見をやめましょうということですね。人権を守りましょう。医療を支える医療関係者を守らなきゃいけないというのは、整理が違うと思いますので、それは別の項目を立てたほうがいいと思います。

**○座長（福田川崎市長）**

それでは、一項目足して、7番目に個人情報の話を追記するという形でよろしいでしょうか。

**○本村相模原市長**

ありがとうございます。

### ○座長（福田川崎市長）

ありがとうございます。ほかよろしゅうございますか。ありがとうございます。それでは、3番の修正については一任いただくということで、発言の皆様の趣旨はよく分かりましたので、私のほうで修正させていただきたいと思います。そして、7番目の項目として、本村市長からご発言のありました個人情報の保護、人権の配慮、こういった保護ということについて追記をさせていただきたいと思います。ご協力ありがとうございました。

## 7 閉会

### ○座長（福田川崎市長）

緊急時にも随時こういったテレビ会議の仕組みを活用し、九都県市の会議を開催してまいりたいと思いますので、ぜひ皆様方のご協力をお願いしたいと存じます。以上で、本日の議題は終了となりますが、よろしゅうございますでしょうか。大野知事、どうぞ。

### ○大野埼玉県知事

1点だけ。千葉市長がおっしゃった九都県市の情報共有の枠組み。実はこれ、1か月くらい前に事務方経由で私から九都県市にご提案させていただいて、何回かお話をしました。今ここで議論するのは時間もないでしょうから、ぜひ進めていただきたいと思います。私も何度か1か月ぐらやっているんですが、なかなか進まないの。次回もしこういった機会があるのであれば、それまでに目標を定めて、仮に問題があるのであれば、それは問題の整理をきちんとし、その上で進めていただいて、いい方向に進めていただければということだけ。ここで議論するつもりはありませんが、ご提案させていただいて、お願いをさせていただきます。

### ○座長（福田川崎市長）

ありがとうございます。ぜひタイムリーにやっていきたいと思うので、よろしく願いいたします。それでは、一日も早く新型コロナウイルスが終息できますように九都県市が力を合わせて、心を合わせて頑張ってまいりたいと思いますので、どうかよろしく願いを申し上げます。どうもありがとうございました。

以上